

アフリカ経済情勢(2023年10月第4週)

アフリカ全般

- AUC・南部アフリカ開発共同体(SADC)・UNDP は共同で、マダガスカル、モザンビーク、マラウイにおける熱帯サイクロン「フレディ」の影響について評価を行い、復興のための重要な教訓を明らかにした。共同評価チームは報告書の最終版を作成中。(18日、AU事務局)
- AU がアフリカ医薬品庁(AMA)を採択してから約4年が経過。エチオピアは、AMA 設立文書の批准プロセスを開始。(24日、The Reporter)
- ムーサ・ファキ AUC 委員長は、ジンバブエの機関および個人に対して課せられている制裁の即時かつ無条件の解除を求める AU の要求を改めて表明するとともに、当該問題に関する南部アフリカ開発共同体(SADC)の立場を全面的に支持すると発表した。(25日、AU事務局)
- AU は、10月30日~11月1日南アフリカにて、非感染性疾患、傷害、精神衛生に関するアフリカ CDC 多部門タスクフォース(NCDI/MH)発足に関する会合を開催予定。(30日、AU事務局)

アフリカ各国

- エチオピア、エジプト、スーダンの3カ国によるグランド・エチオピア・ルネッサンス・ダム(GERD)に関する3カ国間協議第3ラウンドが、カイロで開始された。(23日、Fanabc)
- ケニア政府、ファーウェイとデジタル・トランスフォーメーション促進のためのMoUに署名。(23日、Africa Tech)
- タンザニアは、アラブ首長国連邦(UAE)と30年間の港湾管理契約を締結。(23日、The Star)
- ナイジェリア中央銀行は、ナイジェリアが中国、インド、IMFからの融資の返済に25億6,000万米ドルを費やしたと発表。(23日、Legit)
- アルジェリアの国営石油・ガス会社ソナトラックは、10年間で4億2,000万本の植林による自然炭素貯留のための10億米ドルプロジェクトを計画。(24日、Reuters)
- スーダン全土でデング熱とコレラの感染が拡大中。保健省は、4月15日から10月20日までの間に、9つの州で38人の死亡者を含む3,414人のデング熱患者が記録されたと発表した。(24日、dabanga)
- ナイジェリアは、子宮頸がんの発生率を大幅に減少させるため、HPV に対する大規模なワクチン接種キャンペーンを開始した。当該イニシアティブは、2025年末までに9歳から14歳の女兒1,660万人にワクチン接種を行うことを目標としている。(25日、Africa News)
- ガンビア、子どもの咳止めシロップによる死亡事件で裁判開始。(25日、Africa News)
- 中国資本の木材会社CKBFDは、2022年6月から12月の間に、DRCから中国に500万ドル相当以上の違法木材を輸出した。(25日、Global Witness)
- ガーナ、発電に使用するガスが不足しているため、ほとんどの地域で停電が発生。(28日、AU事務局)
- ジンバブエは、2030年まで米ドルを軸とした複数通貨システムを維持すると発表。また、エコノミストによると、ジンバブエドルへの信頼が低下する中、国内取引の80%近くが米ドルで行われているという。(28日、AU事務局)

以上